

2027年3月期 第1四半期

スモールミーティング

2026年8月10日

Make the HOKKAIDO Way



(東証プライム市場・札幌証券コード：8524)

I 2027年3月期 第1四半期決算の概要

1	業績概要（単体決算）	P1
2	業績概要（連結決算）	P2
3	資金利益	P3
4	貸出金	P4
5	預金	P5
6	有価証券運用	P6～P7
7	役務取引等利益	P8
8	経費	P9
9	与信関係費用・不良債権	P10
10	2027年3月期業績予想	P11

II トピックス

1	政策保有株式	P12
2	北海道密着戦略	P13
3	非金融・多角化戦略	P14～P16
4	ロイヤルティ向上戦略	P17～P18

【ご注意事項】

- 資料には当行グループの将来の業績、経営目標などに関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化などにより、予想と異なる結果となる可能性があることにご留意ください。
- 当行以外の金融機関に関する情報は一般に公知の情報に依拠しております。
- 表示金額は特にことわりのない場合、表示金額未滿を切り捨てております。

I 2027年3月期 第1四半期決算

1 業績概要（単体決算）

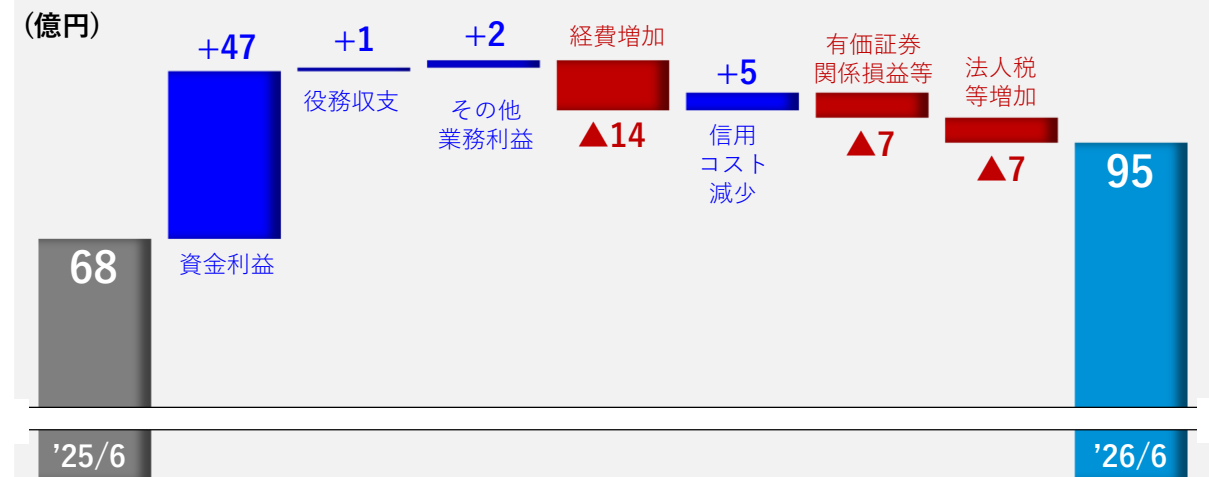
コア業務純益、当期純利益ともに3期連続の増益

【単体】 (単位：億円)	'25/6期 実績	'26/6期 実績	前年比
コア業務粗利益	255	306	+51
資金利益	228	275	+47
貸出金利息	203	260	+57
預金NCD利息 (▲)	43	71	+27
有価証券利息配当金	51	68	+16
その他資金収支	16	18	+1
役務取引等利益	22	23	+1
その他業務利益	4	7	+2
経費(臨時処理分除く) (▲)	164	179	+14
コア業務純益	90	127	+36
信用コスト(▲)	5	0	▲5
有価証券関係損益	0	▲11	▲11
経常利益	91	126	+34
四半期純利益	68	95	+27

決算のポイント

- 法人向け貸出を中心とした貸出金利息の増加や有価証券の利回り上昇によるトップライン収益の増加を主因に、**コア業務純益は3期連続の増益**
- 経費は増加、20年債等の売却により有価証券関係損益がマイナスとなるも、上記トップライン収益の増加で吸収し、**四半期純利益も3期連続の増益**

当期純利益の増減要因



2 業績概要（連結決算）

前年比増収増益 子会社合算も前年から良化

【連結】 (単位：億円)	'25/6期 実績	'26/6期 実績	前年比
連結コア粗利益	263	312	+49
資金利益	216	259	+42
貸出金利息	202	258	+56
預金等利息 (▲)	43	71	+27
有価証券利息配当金	41	53	+12
その他資金収支	16	18	+2
役務取引等利益	37	40	+2
その他業務利益	9	13	+3
経費(臨時処理分除く) (▲)	176	192	+15
連結コア業務純益	86	120	+34
信用コスト(▲)	10	5	▲5
有価証券関係損益	0	▲11	▲11
連結経常利益	81	112	+31
親会社株主に帰属する当期純利益	59	82	+23

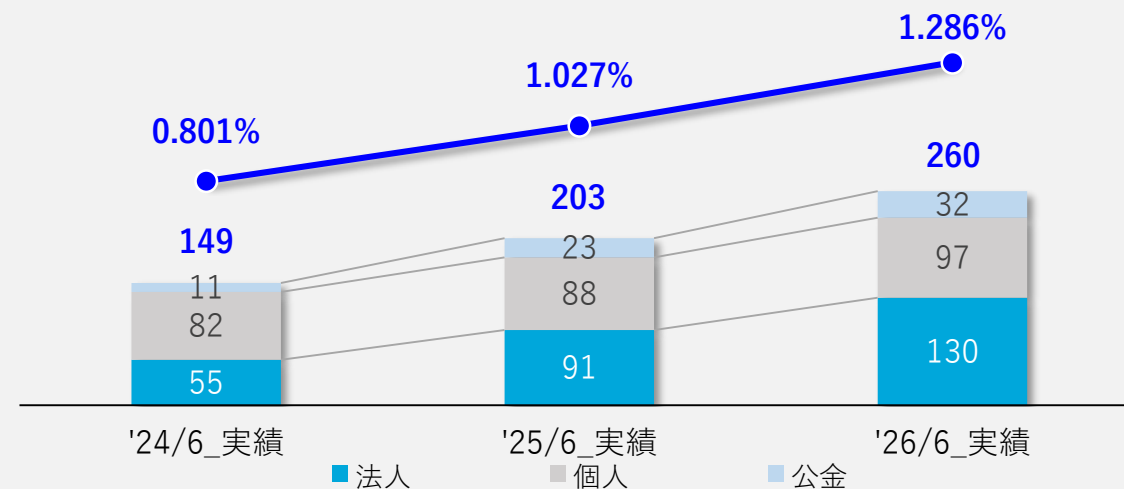
子会社の状況				
(単位：億円)	経常収益	'25/6期 実績	'26/6期 実績	前年比
	純利益			
札幌北洋リース	経常収益	60	64	+4
	純利益	1	+1	+0
ノースパシフィック	経常収益	5	6	+0
	純利益	▲0	▲1	▲0
北洋証券	経常収益	4	5	+1
	純利益	▲0	0	+1
北海道共創パートナーズ	経常収益	4	4	+0
	純利益	0	0	▲0
その他2社	経常収益	7	6	▲0
	純利益	0	0	+0
連結子会社6社合計	経常収益	82	87	+5
	純利益	1	1	+0

3 資金利益

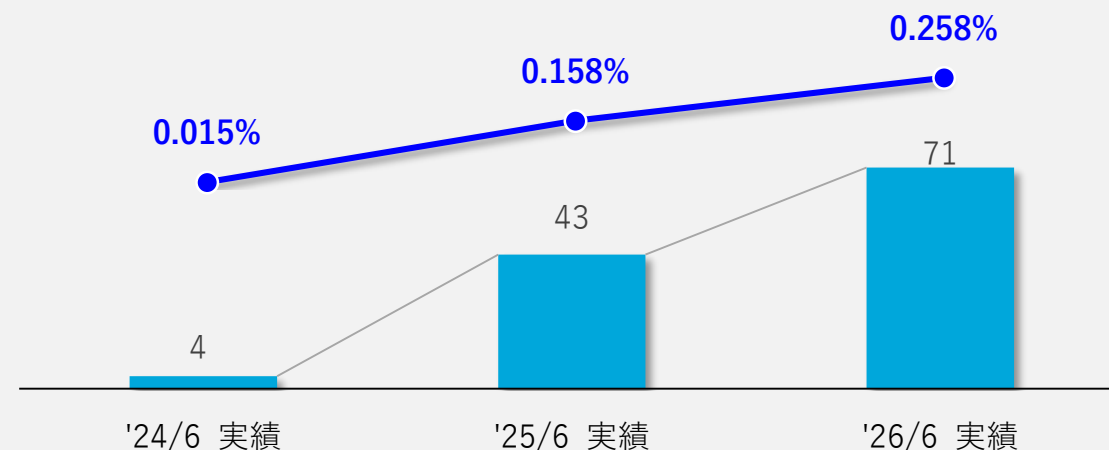
預貸収支、有価証券利息配当金ともに前年から増加

【単体】 (単位：億円)	'25/6期 実績	'26/6期 実績	前年比
資金利益	228	275	+47
預貸収支	160	189	+29
貸出金利息	203	260	+57
預金NCD利息(△)	43	71	+27
有価証券利息配当金	51	68	+16
円債	21	35	+14
株式	24	25	+1
外国証券	0	2	+2
その他	5	3	▲1
うち投信解約益	0	0	0
その他資金収支	16	18	+1
資金利益(除く投信解約益)	228	275	+47

貸出金利息・貸出金利回り（億円）



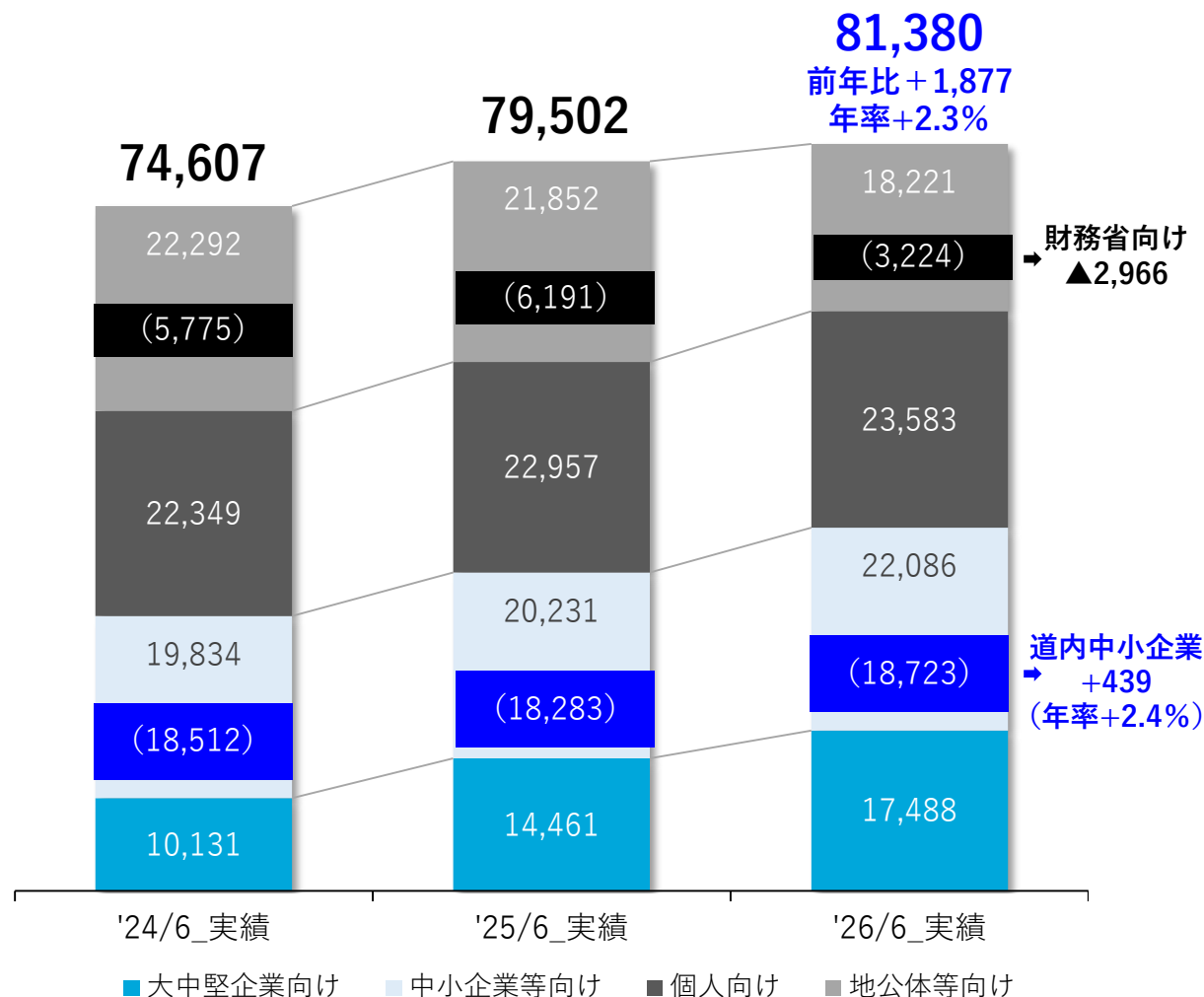
預金利息・預金利回り（億円）



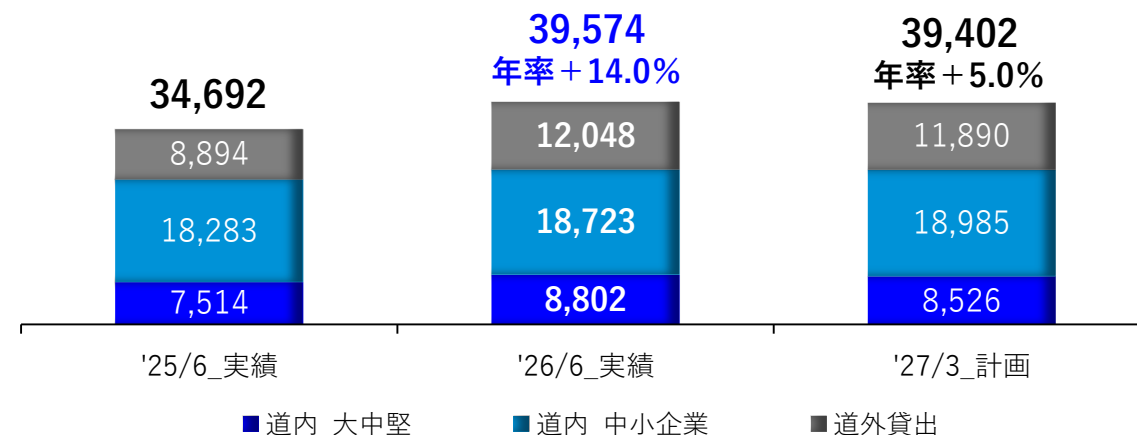
4 貸出金

法人・個人ともに貸出ボリュームは増加

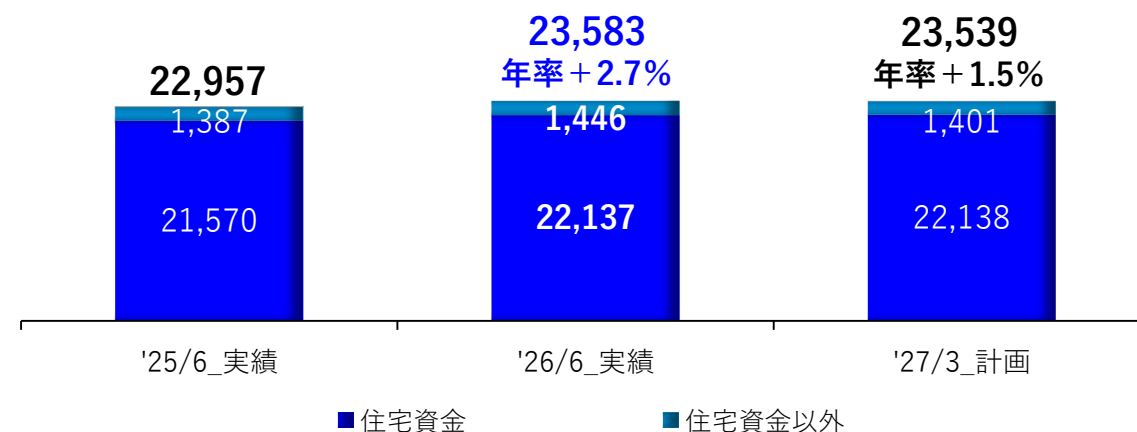
貸出金平残の推移（億円）



法人貸出平残（億円）



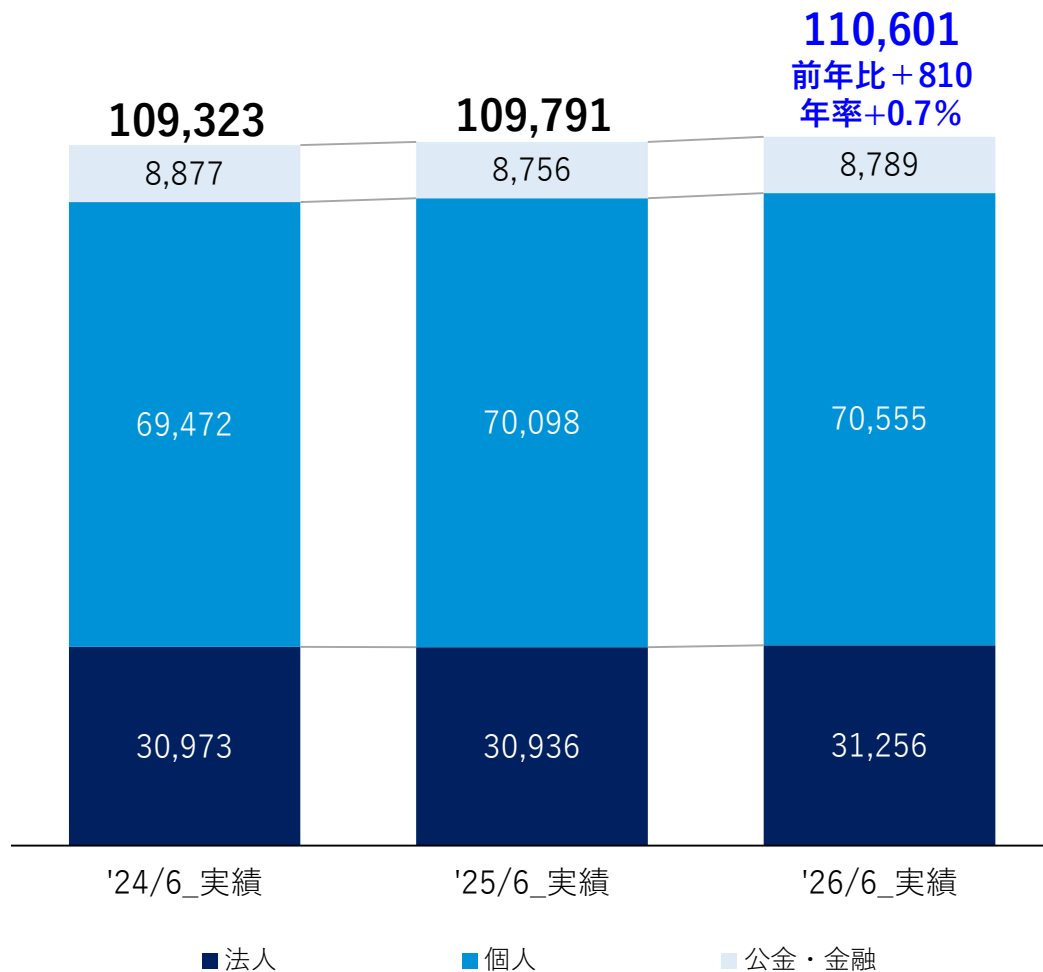
個人貸出平残（億円）



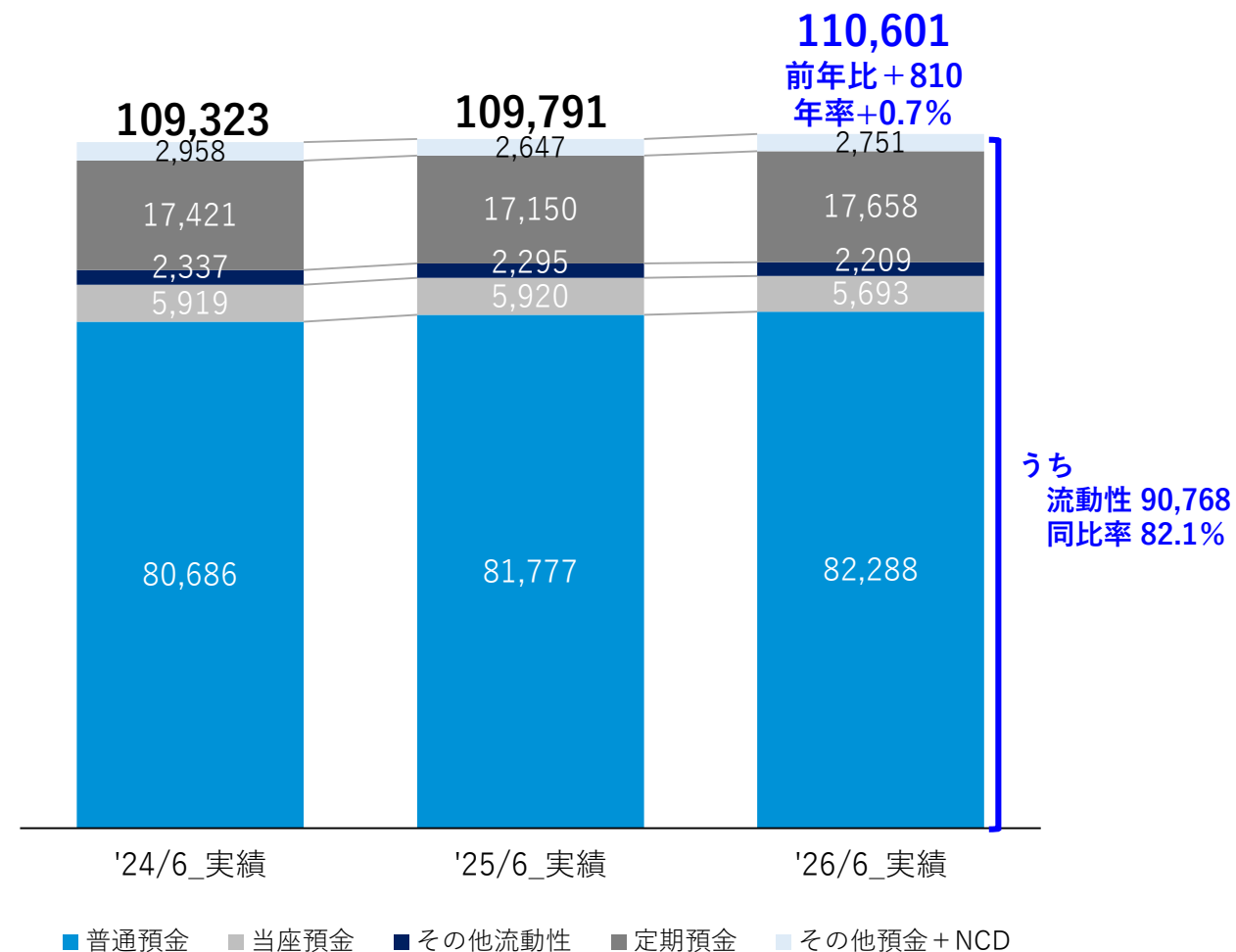
5 預金

各セクターで預金ボリュームが増加 預金全体に占める流動性預金の比率は引続き80%超

【セクター別】 預金平残の推移（億円）



【種類別】 預金平残の推移（億円）



※ 当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、別段預金、納税準備預金の合計（非居住者円預金、外貨預金は除く）

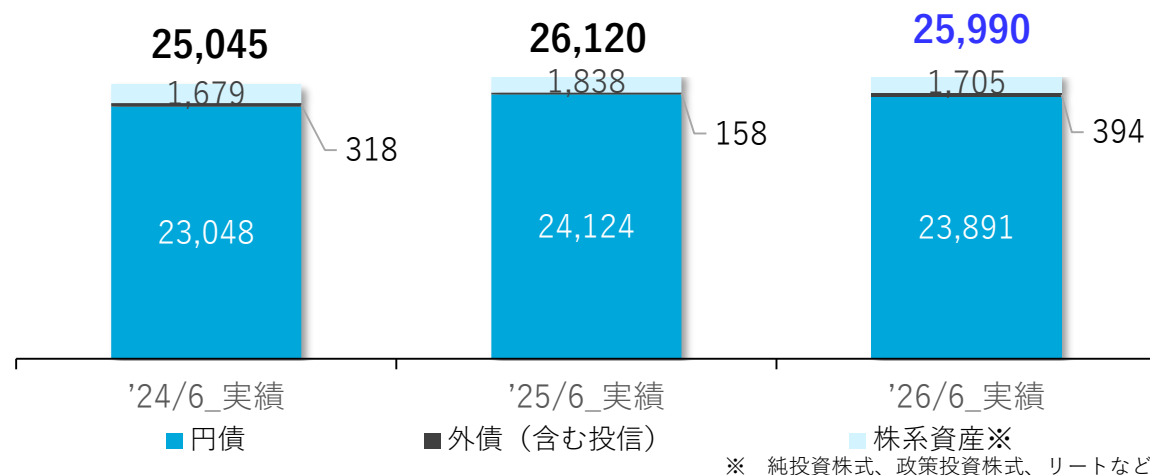
6 有価証券運用 ～残高・利回り・デュレーション・評価損益～

Make the HOKKAIDO Way

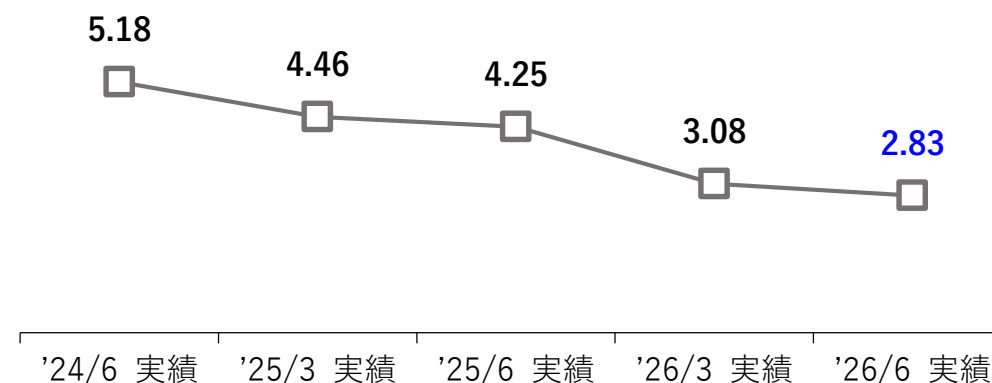


市場金利の上昇および長期債の入替により利回りが改善 デュレーションの短期化も進む

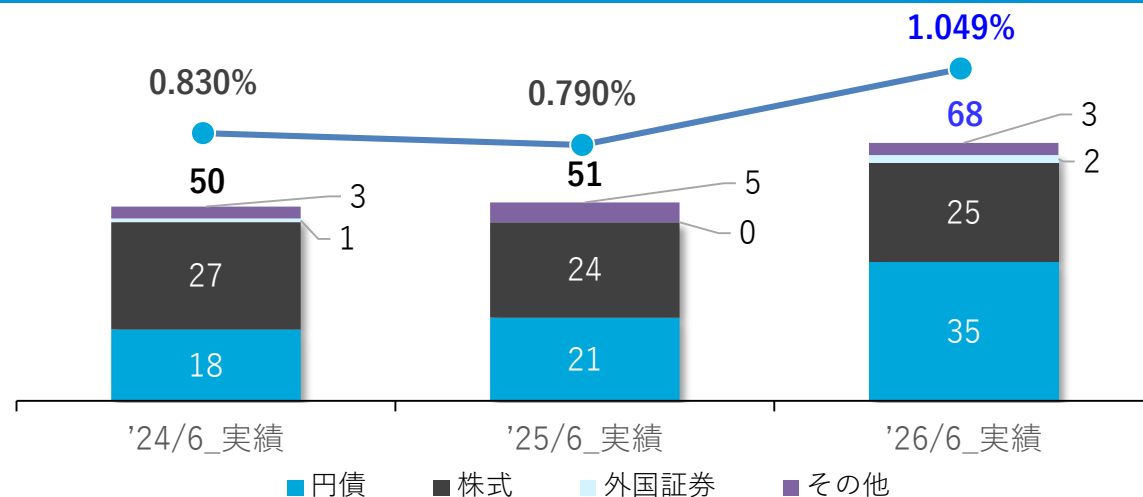
有価証券残高実績（億円）



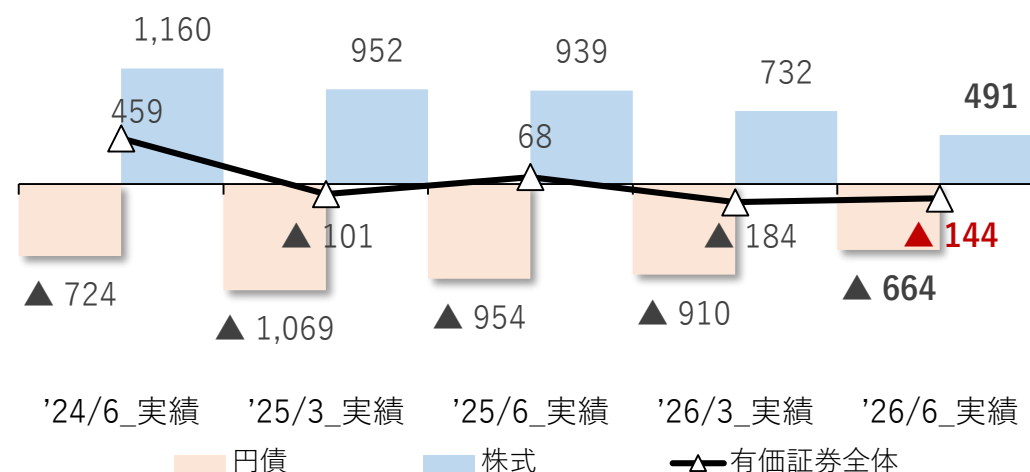
円債デュレーション（年）



有価証券利息配当金（億円）・利回り



有価証券評価損益（億円）



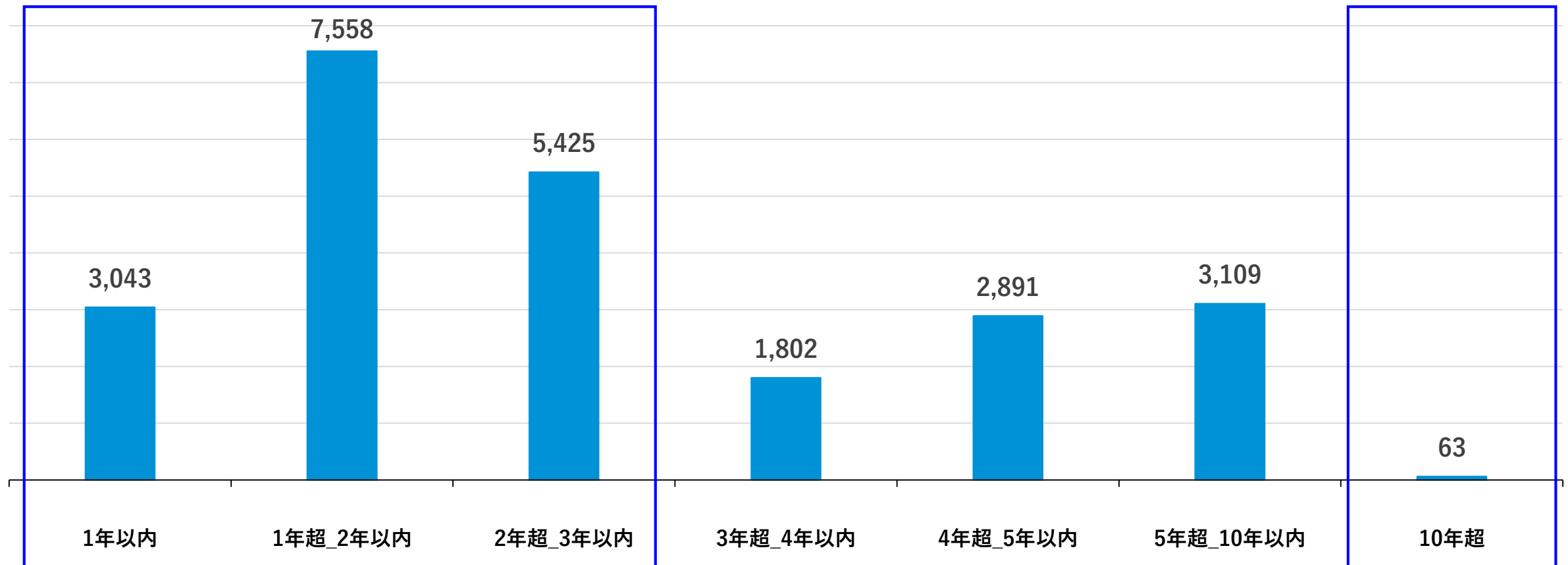
6 有価証券運用 ～円債ポートフォリオ～

20年債の処理は完了 残存3年以内の償還再投資により今後のインカムアップを図る

残存期間別の円債残高（簿価ベース：億円）

残存3年以内の円債約16,000億円（平均利回り0.48%）

第1四半期決算にて
20年債を全額売却

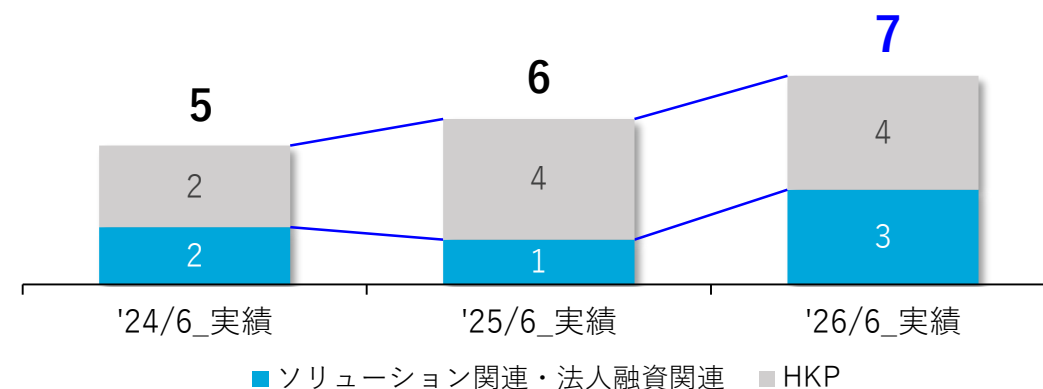


7 役務取引等利益

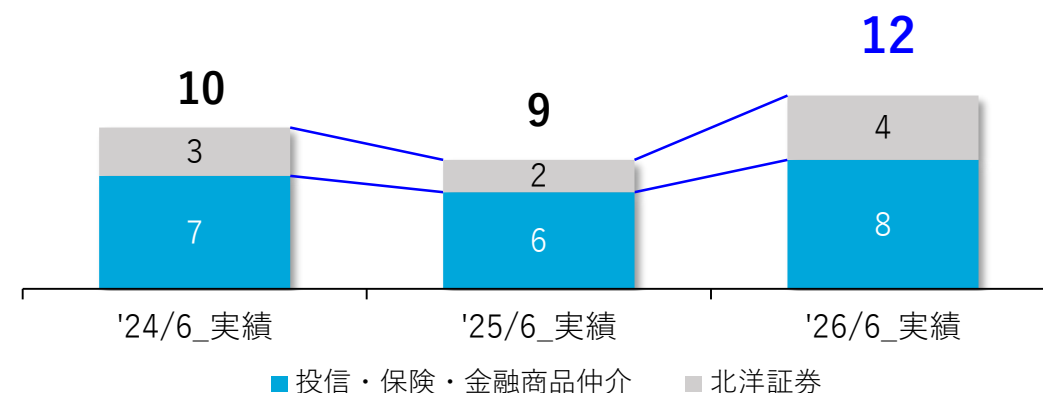
グループ全体の取組みにより収益は増加

【連結】 (単位：億円)	'25/6期 実績	'26/6期 実績	前年比
法人関連	6	7	+1
ソリューション関連	1	3	+2
法人融資関連	0	0	▲0
北海道共創パートナーズ	4	4	▲0
預り資産関連	9	12	+3
投信・保険	6	7	+1
金融商品仲介	0	0	+0
北洋証券	2	4	+1
団信保険料	▲22	▲23	▲0
為替手数料	15	16	+0
他子会社（HKP・証券除く）	10	10	+0
その他	19	18	▲1
合 計	37	40	+2

法人関連（億円）

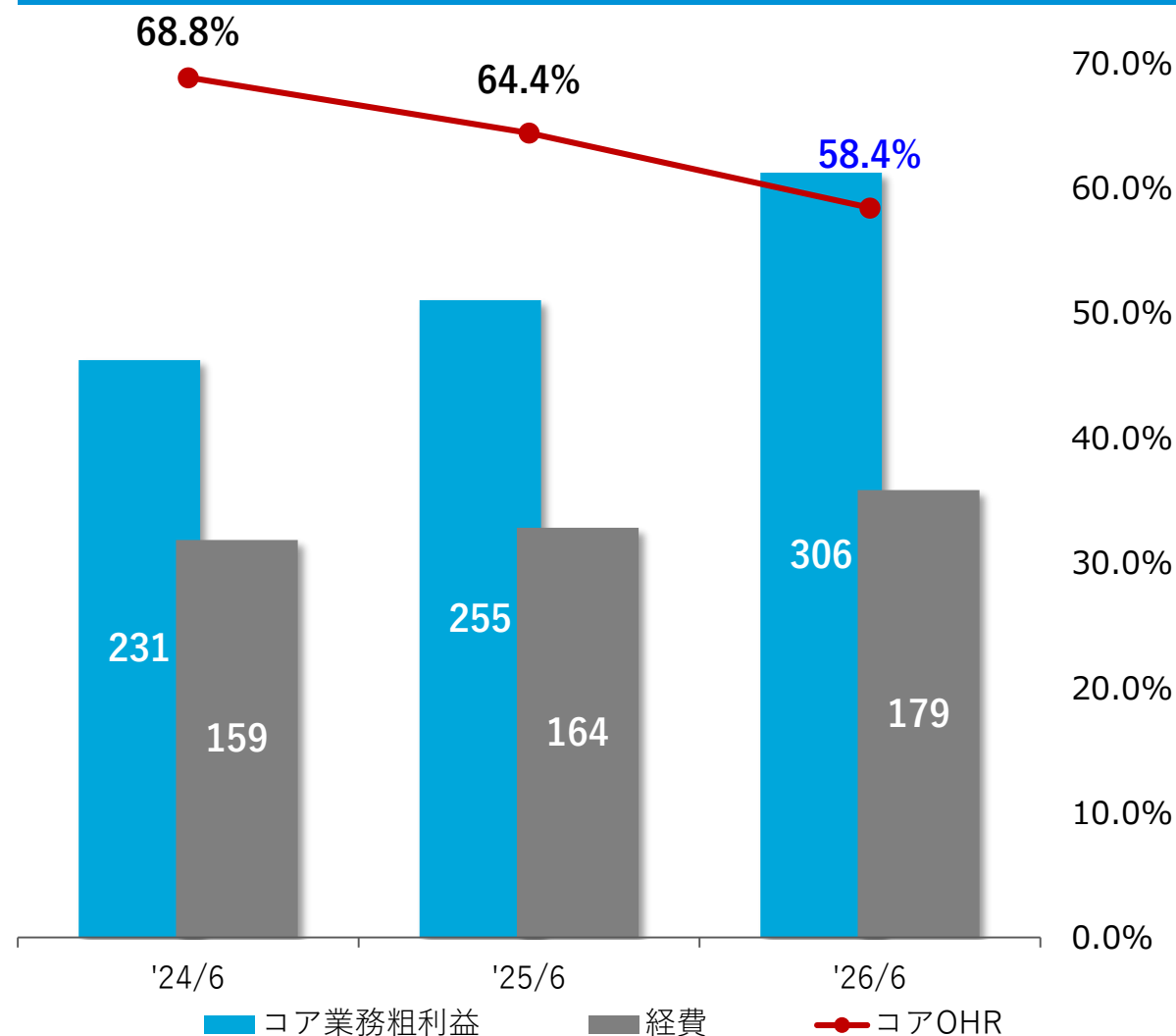


預り資産関連（億円）

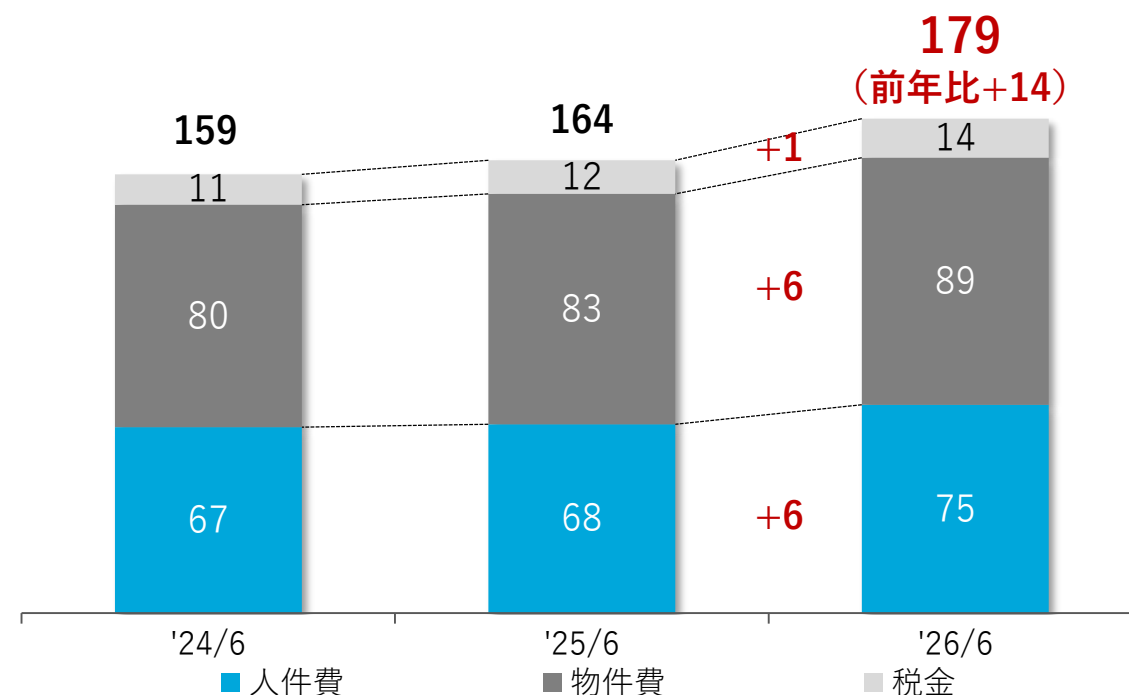


経費は増加するもコアOHRは低下

経費・コアOHRの推移（億円）



経費の内訳（億円）



【前年比主な増減要因】

人件費 + 6 ⇒ ベースアップなどによる増加

物件費 + 6

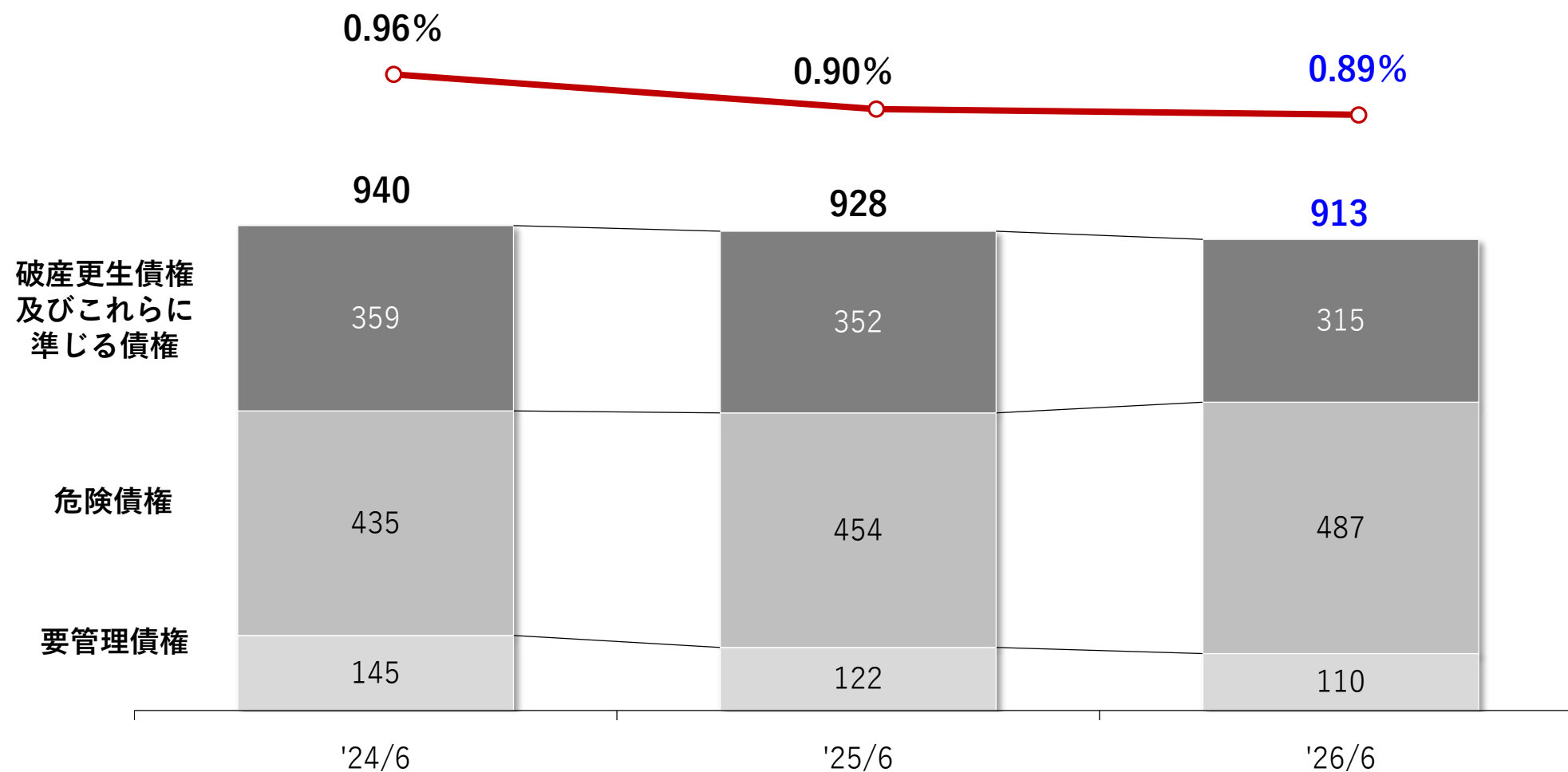
⇒ 不動産償却 + 2、広告宣伝費 + 1、帳簿印刷費 + 0.7など

税金 + 1 ⇒ 物件費増加などの比例増

9 与信関係費用・不良債権

開示債権比率は低水準を維持

開示債権額（億円）・比率※



※ 部分直接償却を実施した場合の総与信に占める開示債権の比率

資金利益の増加を主因に前期比増益を見込む

【単体】 (単位：億円)	'26/3期 実績	'27/3期 計画	前年比
コア業務粗利益	1,085	1,193	+107
資金利益	947	1,065	+118
貸出金利息	892	1,059	+167
預金NCD利息 (▲)	196	295	+98
有価証券利息配当金	201	247	+46
その他資金収支	50	54	+4
役務取引等利益	111	111	▲0
経費(臨時処理分除く)(▲)	677	738	+60
コア業務純益	408	455	+46
信用コスト(▲)	40	40	▲0
有価証券関係損益	▲34	▲23	+11
経常利益	359	435	+75
当期純利益	251	293	+41

【連結】 (単位：億円)	'26/3期 実績	'27/3期 計画	前年比
連結コア粗利益	1,167	1,273	+105
経常利益	375	444	+68
親会社株主に帰属する当期純利益	256	294	+37

決算のポイント

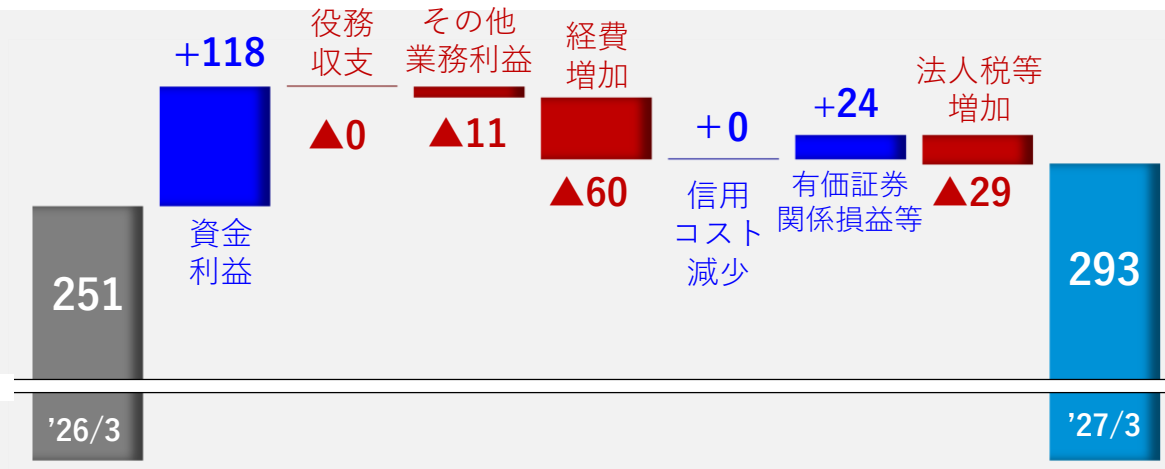
■ 利益増加要因 【】は前年比増減（億円単位）

- ①貸出金利回りの改善等
(2027年1月 政策金利0.75%⇒1.00%想定) 【+167】
- ②有価証券運用益の増加 【+46】
- ③その他資金収支の増加 【+4】

■ 利益減少要因

- ①預金支払利息の増加 【▲98】
- ②新人事制度導入、賃上げ等による人件費の増加 【▲13】
- ③広告宣伝費、業務委託費等の物件費の増加 【▲44】

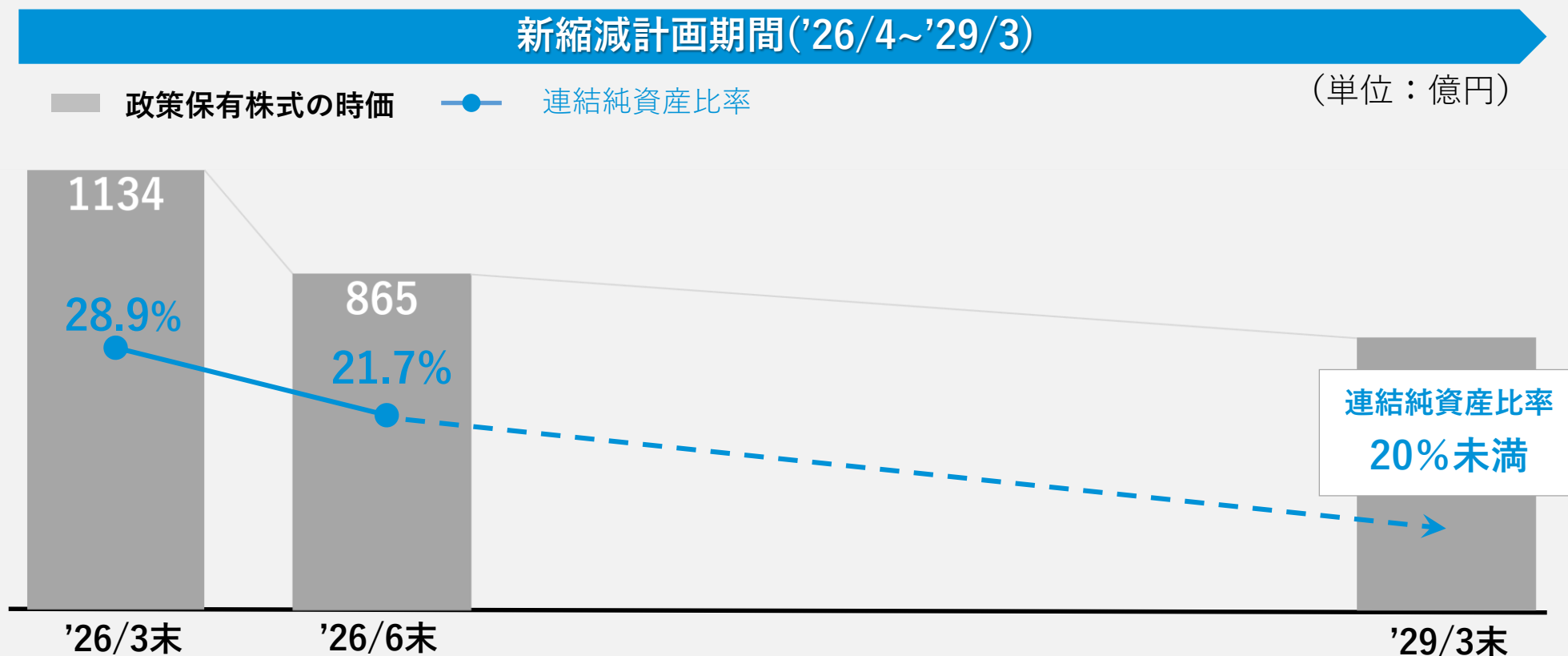
当期純利益の増減要因（億円）



II トピックス

1 政策保有株式

政策保有株式の縮減は着実に進展 計画の早期達成を目指す



- 新中計では「2029年3月末までに政策保有株式を連結純資産比率20%未満(時価ベース)」とする、新たな縮減計画を策定。
- 道内銘柄含む全先との交渉を進めており、足元では縮減は順調に進んでいるが、目標の早期達成を目指し交渉を継続していく。

【対話の状況】

対象先	前向回答	対話継続
38先	12先	26先

2 北海道密着戦略 ～信託業務～

■ 信託業務の兼営認可を取得 道内に本店を置く金融機関としては初

ほくよう遺言代用信託 ほくよう暦年贈与型信託

認知症や
介護状態になった時に
お金の管理が心配…

親の相続の時に思ったより
遺産受取に時間がかかって
たいへんだった…

たくさんの子や孫への
贈与全て管理するのは
大変…

介護や入院費用も
家族に負担を
かけたくない…

相続税対策に
生前贈与があるって聞いたけど
面倒な手続きはいやだなあ…

北洋銀行がこんなお悩み解決します

ほくよう遺言代用信託
のこすプラン つかえるプラン
万が一のとき、すぐに資金を受け取り

ほくよう暦年贈与型信託
生前贈与をサポート

元本保証・預金保険対象

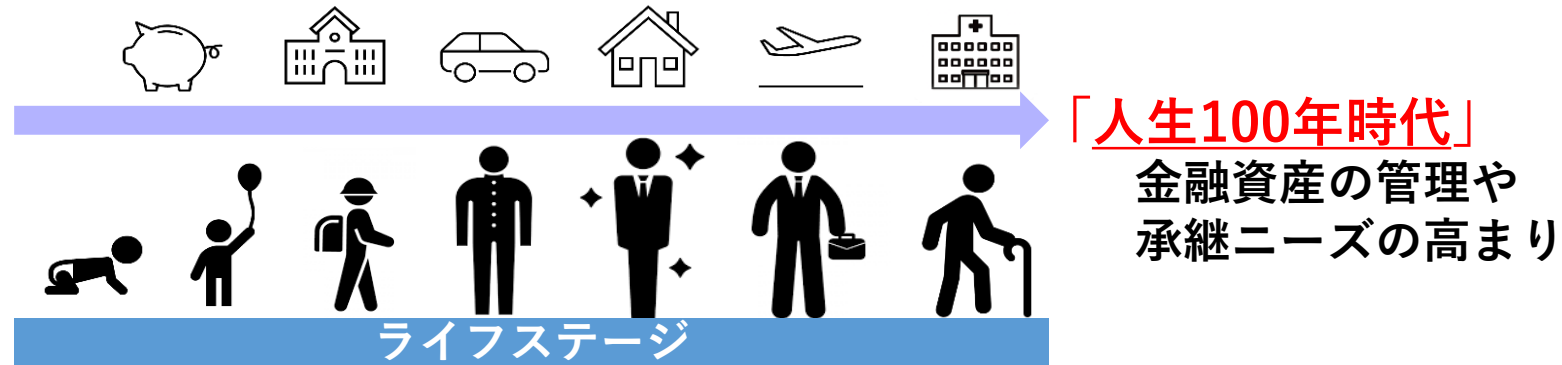
1 ▶ あなたに代わって代理人さまがお金を引き出せます
2 ▶ 何にお金を使ったか、みまもり人さまにもお知らせします
3 ▶ 元本保証で安全にお金を管理します

1 ▶ 毎年ご意向を伺うので機会を忘れません
2 ▶ 手続きをサポートするので面倒がかかりません
3 ▶ わたしたちが記録が残るので安心です
4 ▶ 元本保証で安全にお金を管理します

財産管理としての新しいご提案です

○ご契約に際しては、契約時手数料（信託報酬）がかかります。
○予定配当率は変動します。収益の支払いを当行が保証するものではありません。
○商品内容詳細は、パンフレットまたは商品概要説明書をご確認ください。
○マル優のお取り扱いはできません。
○当行所定の審査により受託できない場合があります。

本商品に関するお問い合わせは、
当行本支店窓口へ
お問い合わせください。



高齢化が進む北海道の資産管理・承継ニーズに、新たに「信託」を加えたワンストップ提案を実現

ほくよう遺言代用信託

相続発生時に、予め指定された受取人が信託財産を受け取ることが可能

Point

認知症等の意思能力の低下に備え、
予め指定された受益者代理人による払い出しも可能

ほくよう暦年贈与型信託

指定された条件に基づき、
毎年家族へ贈与することが可能

Point

毎年、贈与の意思確認を行い、その年の受贈者・贈与
金額を決められる（柔軟な贈与が可能）

※商品内容詳細は、パンフレットまたは商品概要説明書をご確認ください。

3 非金融・多角化戦略 ～北海道マザーファンド～

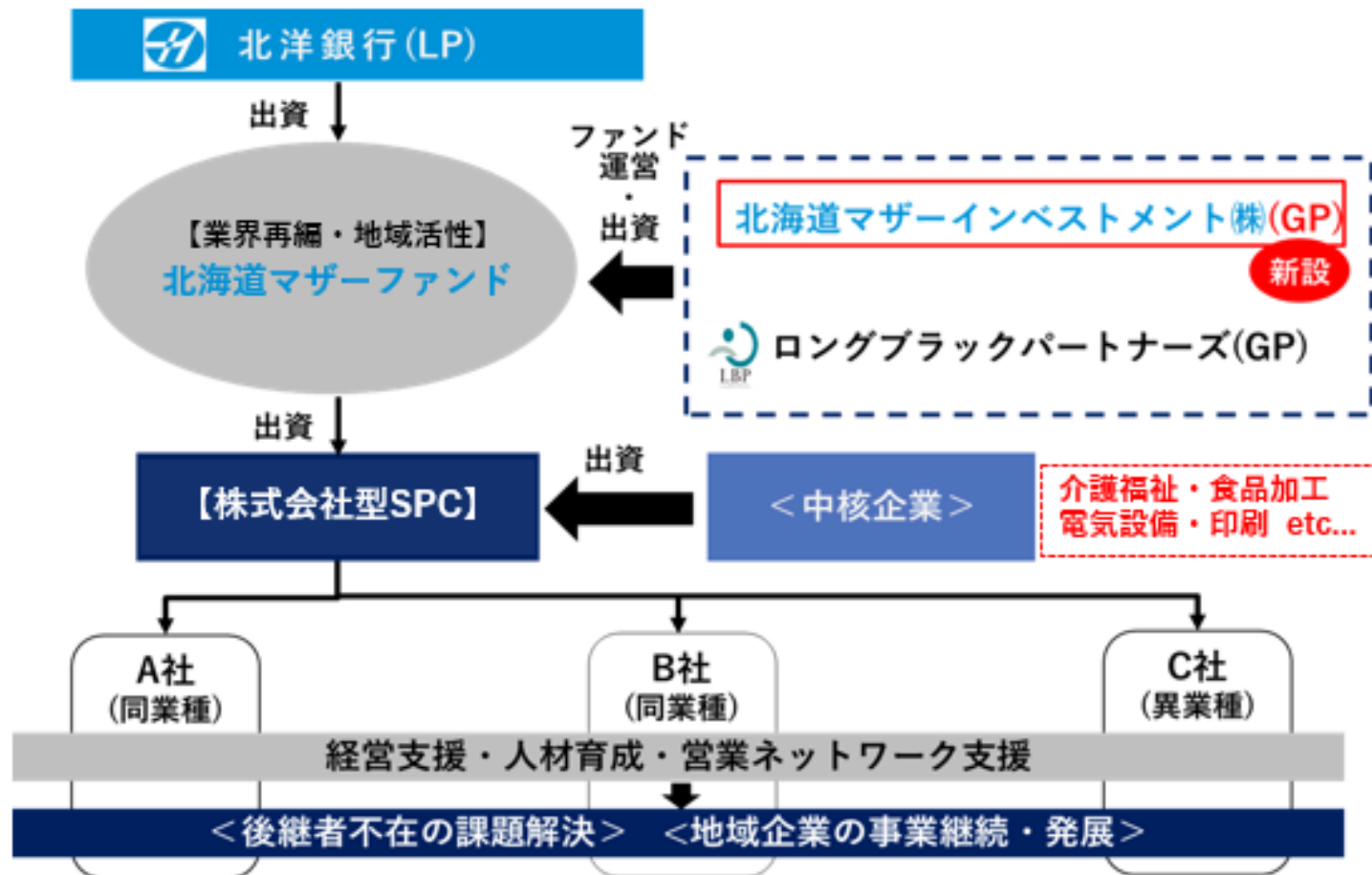
Make the HOKKAIDO Way



業界再編に向けた支援

- 昨年12月、投資専門子会社「北海道マザーインベストメント」を設立
- 経営改善や人材不足、事業承継などの経営課題の解決を面的にサポート

【スキームイメージ図】



【北海道マザーファンド第1号案件】

株式会社MOEホールディングス様と共同で、**介護業界再編**を目的とした持株会社を設立。

→ 2026年7月1日付で、株式会社TMらいふサポート様の全株式を取得



8/7 設立

AI事業専門子会社「AI Ignition株式会社」

【生成AIの活用支援】

AI教育研修

広告制作



AIコンサルティング

→ 地域企業の生産性向上と
競争力強化を目指す



3 非金融・多角化戦略 ～結婚相談所～

Make the HOKKAIDO Way



北洋銀行の結婚相談所 plus-H

2026年7月

当行職員・お取引先企業の従業員さまを対象に
最大2年間の実証実験を開始

銀行本体による結婚相談所事業の運営は
全国で2行目

当行の信用力・店舗網・知名度を
活かした婚活サービス展開

北海道民の
婚姻ニーズを
サポート

お取引先企業への
『福利厚生提供』
『後継者問題』
へのサポート

非金融事業
拡大



北洋銀行

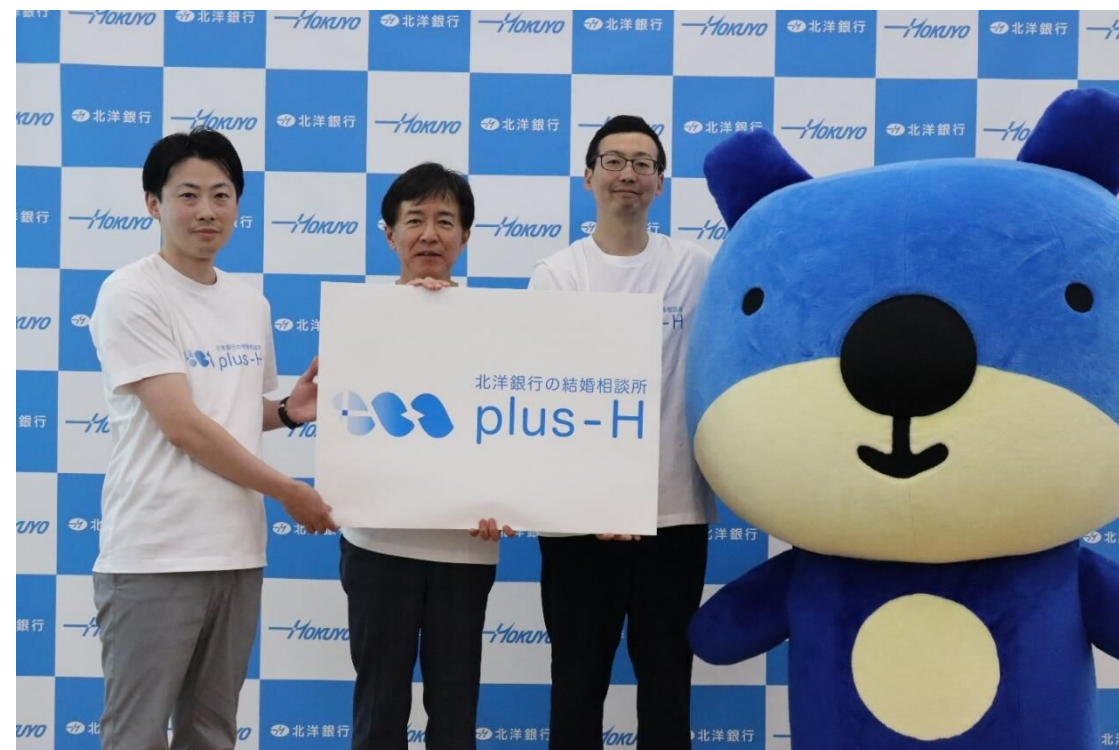
培ってきた
「信頼」と「安心」



株式会社IBJ

日本最大の
婚活プラットフォーム

全国規模の良質な出会いの機会を提供



4 ロイヤルティ向上戦略 ～富裕層向け施策～

Make the HOKKAIDO Way



ほくよう札幌駅前ラウンジ 開設

法人オーナー・ビジネスエグゼクティブ向け

「くつろぎ」と
「仕事」を
両立できる空間を提供



新たな付加価値をお届け

4 ロイヤルティ向上戦略 ～プロスポーツ支援～

Make the HOKKAIDO Way



FIGHTERS
SPORTS & ENTERTAINMENT



Make the HOKKAIDO Way



【パートナーシップ契約締結】

1. まちづくりへの貢献に関する知見積み上げ
エスコンフィールドHOKKAIDO、2軍施設(恵庭市)、
周辺地域の開発への関与
2. 金融コンサルティング機能の提供
エリア開発に関する金融面のサポート、選手・職員への
金融情報の提供
3. 非金融分野での連携
ビジネスマッチングやM&A情報の提供など、非金融
分野での連携を強化

スポーツ
×
金融

新たな事業モデル



Make the HOKKAIDO Way



【包括連携協定締結】

1. 新アリーナ構想に伴うまちづくりの協力
当行が持つ金融機能や知見、道内における幅広い
ネットワークを最大限活用してサポート
2. 金融リテラシー向上サポート
選手・職員への金融情報の提供、地域の子どもたちに
向けた金融教育における連携
3. スポーツを通じた地域活性化
地域コミュニティの形成、北海道の魅力発信など、
地域社会の発展につながる取組を共同で推進

北海道の発展、相互の成長と
顧客満足度向上を目指す

株式会社北洋銀行

2027年3月期 第1四半期 スモールミーティング 説明資料

2026年8月10日

作成：株式会社北洋銀行 経営企画部 経営企画室 （IR担当）

〒060-8661

札幌市中央区大通西3丁目7番地

電話 011-261-1693

E-mail :ir@hokuyobank.co.jp
